

くずし字読解チャレンジ！

テキスト②

「千束屋引札」



「千束屋引札」(神道博物館所蔵)

「引札」とは、商店が開店や商品売り出しを宣伝するために配る札のこと、今でいう広告(ちらし)です。
江戸では「引札」、京・大坂では「ちらし」と呼ばれていました。
テキストは伊勢古市にあった「千束屋(ちづらや)」の引札です。

「まなび」では「千束屋」の資料を紹介しているのでござる。
「くずし字読解チャレンジ！」が終わったら、確認してみるのがよいでござる！





をどり狂言

かしい〔①〕やう所



おしろい繪具類

かづら

小〔②〕具

いせく

いせ古布

ちつかお

千束屋は『東海道中膝栗毛』にも登場する名楼でしたが、江戸末期に歌舞伎の貸衣装業に転業しました。

千束屋の登場場面は「江戸っ子」か？調べてみてくださーね！

新年の瑞雪千里同風芽出
後り細り先以て各位幸甚多
祥御起軍とて或萬賀の氣
を為し降る初店儀皆様の
御引立を以て日増に繁栄致し
難有る尚相變らば此ヒイキ
をかけられヲサイヤ外へやら
し御用件付下されば願上
り放日

〔③〕年の〔④〕慶千里〔⑤〕風芽出

〔⑥〕申納候先以て各位〔⑦〕御多

祥御超〔⑧〕可被〔⑨〕萬賀の〔⑩〕

〔⑪〕存〔⑫〕降而弊店儀皆様の

御引〔⑬〕を以て日増に繁栄〔⑭〕し

難有〔⑮〕尚相〔⑯〕らず御ヒイキ

をかけられヲサイヤ外へ〔⑰〕やら

じと御用〔⑱〕付下され〔⑲〕願上

候〔⑳〕

をどり狂言

かしい① やう所

おしろい繪具類

かづら

いせ古市

小② 具

ちつかね

いろく

③ 年の④ 慶千里⑤ 風芽出

⑥ 申納候先以て各位⑦ 御多

祥御超⑧ 可被⑨ 萬賀の⑩

⑪ 存⑫ 降而弊店儀皆様の

御引⑬ を以て日増に繁栄⑭ し

難有⑮ 尚相⑯ らず御ヒイキ

をかけられヲ、サイヤ外へ⑰ やら

じと御用⑱ 付下され⑲ 願上

候⑳